

立志の道



2019. 9. 12 NO.13

発行責任者 校長 小池雅美

甲陵中・高への通学者が近道として利用する立志の道。
校訓「立志躬行」の実現への道のりを、中学校の教育活動の様子を通して、随時お伝えしていきます。

9 月もさまざまな活動が行われています。

本当に厳しい残暑に見舞われた9月の始まりでしたが、ようやく少し秋めいた体感になってきました。甲陵中は前後期制をとっていますので、期末テストもありました。1年の折り返し点を迎え、振り返りと後期への目標を意識していきたいものです。

そんな中、生徒の視野を広げ、多くのことを学んでもらいたいとの目的で、さまざまな講座や実習が行われていますので、紹介します。

「しなやかな心の育成」講演会 9/2

山梨県の教育施策の中に、子どもたちの「しなやかな心の育成」というものがあります。「しなやかな心」とは「自分や他者の多様な生き方や考え方、存在を認め合う柔軟な心（自他を敬愛する心）」「困難や挫折に直面しても粘り強く最後まで諦めない心」であると位置づけています。そのために道德教育を推進したり、各地で講演会を開くなどの取組を行っています。甲陵中ではその取組の一環として、9月2日に樹木医であり「Annの森プロジェクト」代表の安藤義樹さん（小淵沢町在住）による講演を全校で聞きました。ヒトと森との関わりをテーマに森づくりや自然体験プログラムなど様々な活動を通じてたくさんの人との交流を目指してきた安藤さんが、樹木や森の営みから「どのような生命も、その営みの中で最大限に大切にされるもの」というメッセージを残して下さいました。



身近にあるにもかかわらず、全く知らないことばかりでした。複数の教科の知識や考え方を使って聞いたり考えたりするのは新鮮な気分でした。理科や社会の授業の時のことを何度も思い出して互いを結びつけて納得するような作業で、勉強不足を痛感する場面も多くありました。また、知っていたにも関わらず、知識が定着できていないことによって分からない、ということもあったため、悔しいです。積むべき経験を積んでいなかったように思えて、自分が今まで何をしてきたのか、振り返り考え込んでしまいました。実は先月、木々に触れる機会がありました。そこで木に命を預けるという感覚を味わいました。だからこそお話を自分のものとして聞くことができました。経験がものを言う、というのは人生そのものなんだなと思いながら聞いていました。口先だけではなく、しっかりと長坂という環境、地域に向き合いたいと思いました。これから先3年以上もお世話になる土地なので、市外の人に説明できるくらいの知識を兼ね備えておきたいです。そして今回残っていた課題について調べて、学んで解決したいと思います。今回はたくさんの興味深いお話、綺麗な風景のお写真をありがとうございました。

（講演後の生徒感想より）

短歌を作る楽しみ 9/5

2年生の国語科の単元の中に「短歌」の学習があります。その学習の集大成として、県立文学館の館長であり歌人である三枝昴之先生を講師にお招きして指導していただくというめったにない機会を得ました。2年生はあらかじめ、令和2年度歌会始のお題である「望」の字を詠みこんだ短歌を作り、一人一人の歌を三枝先生に添削していただきました。中には「直しなし」という作品もあり、先生からお褒めの言葉もいただきました。また、作歌の注意点について具体的なお話もあり、短い言葉で表現する短歌の奥深さや面白さを感じる時間になりました。



1年生の道徳授業から 9/4

今年度から教科化された道徳ですが、この日は1年生の大柴先生の授業を研究授業として先生方全員で参観しました。1年生が活発に発言したり、話し合いがしっかり行われていた様子を見ると、目標にしている「考え、議論する道徳」にだんだん近づいているのでは、と感じました。この日の教材は「最強の敵 最大の友」でした。ライバルと友達の違いや共通点を考えながら「友情とは」という問いにどう答えていくのか……。身近な問題であればあるほど考えさせられます。



家庭科の保育実習にて 9/11

3年の家庭科の単元には「保育」があります。毎年、保育について学習し「子どものためのおもちゃ」を作成した後、長坂保育園の協力の下保育実習を実施しています。暑い日になってしまいましたが、元気に遊ぶ園児たちに負けず、3年生も頑張って(?)遊んで来たようです。園児たちも、日頃あまり関わらない「お兄さん、お姉さん」が新鮮で、とても喜んでいました。3年生もテストを挟んだ日程になってしまいましたが、楽しい時間になりましたね。



芸術鑑賞ワークショップが行われました 9/11

今年度の芸術鑑賞教室は10月17日(木)にミューズホールで行われる劇団ワンダーランドによる演劇『からくり儀右衛門—日本のエジソン・技術で明治維新を創った男—』です。この日は本番の芸術鑑賞教室に先立ち、ワークショップが行われました。この演目は江戸時代後半の九州久留米に実在した、からくり人形師田中儀右衛門の生涯を描いたものだそうです。物語の時代背景や、儀右衛門の発明したものなど、劇団の方が詳しく紹介してくれました。また、この演目は参加型ということで、当日皆で歌う合唱の練習や、劇に参加する生徒(3年生6名の予定)の特別稽古も行われました。本番がとても楽しみです。PTA 教養部の事業として自由参観日に開催しますので、保護者の皆さまもぜひご鑑賞下さい。(後日お知らせも配布します)



先日の台風の折には、始業時間を遅らせる判断をしましたが、鉄道の遅れなどあり、通学が大変な生徒もいたと思います。今後も台風などあると思いますが、なるべく早めの判断をして通学の安全に配慮して行きたいと思います。保護者の皆さまもぜひご協力下さい。

